

中津川市地域医療実習 感想文

久留米大学 1年生

今回の実習に対して、総括として感想文の記載をお願いいたします。文量はおまかせします。

中津川市地域総合医療センターの HP でご紹介させていただく予定です。

完成しましたら med-cen@city.nakatsugawa.gifu.jp 宛に添付して送ってください。

私は、今回の実習で、実際にやってみることの大切さを実感いたしました。

もちろん、はじめは戸惑いの連続でした。岐阜の地に着くやいなや、脈拍を測ってみたり、そしてそれに対する所見を述べたり、医療面接を行ってみたりといきなりやることに最初は不安感を持っていました。途中で、正常値や、所見の述べ方がわからなくなったりなど、全然授業で習ったことが実際の場面に遭遇すると、全然出てこないことに自分に対して愕然としたりもしました。また、BMI の正常値についてなど、授業では習っていないこともさも知っているかのように訊かれたため、いろんなことにアンテナを張っておくことの重要性を実感しました。このように、はじめのうちは戸惑ってばかりでした。ですが、ラーニングピラミッドでも示されているように、実際にやってみることは、最も効果の高い学習法の一つでもあります。実際に、いろんなことを行わせていただいたのは幸運でした。

例えば初日では、先に申し上げたように脈拍計測やそれに対する所見を述べる、医療面接の実施など、二日目はお子さんと一緒に遊んだり、一緒にスポーツをしたり、大学病院ではまずしないような実習、三日目は私がすでに大学で行ったような老人ホーム実習でしたが、岐阜と福岡の違いを実感できました。また、市役所の方にお話を伺うこともできました。四日目は地域に勤めるお医者さんの実態の視察、就労支援施設の見学や、実際にそこで栽培させていたキノコを食べてみたりしました。五日目は実際に電子カルテに情報を入力してみたり、実際の医師の仕事内容に近いものを体験させていただきました。

このように、とにかく怒涛の勢いで、次から次へと様々なことを体験させていただいたので、多くのことを吸収できたように思います。特に印象に残ったのは、二日目と四日目の実習です。二日目の実習では、発達支援センターにてお仕事の一部内容を体験させていただいたのですが、実際に私がこのような施設に通っていたこともあり、親近感をもって、子供たちに接することができたと思います。元気いっぱいの子には、こちらも元気いっばいで対応するなど、かなり対応力が問われる場面もあり、対応力を鍛えることができたのでは、と考えています。四日目は、就労支援施設という、発達障害を持つ方の就労を支援する施設を見学させていただき、こういう施設もあるんだな、というのが強く記憶に残っています。

このどちらも、通常の大学のカリキュラムではまず体験することのできない施設でした。このような体験ができましたので、申し込んでよかった、と考えています。ぜひ、後輩など

にも勧めてみようと考えています。

この度は、実習を支援して下さった方に感謝の意を述べたいと思います。ありがとうございました。